

## オレンジキャンペーン in 射水 ～がんばる女性をみんなで応援～

3月8日の国際女性デーに合わせて、女性の社会進出を啓発するため、SDGs目標5「ジェンダー平等を実現しよう」のもと、ロゴカラーのオレンジ色で統一したキャンペーンが3月6日・7日の2日間にわたりクロスベイ新湊で開催されました。私たち男女共同参画推進委員会も3月7日(日)にオレンジ色の揃いのジャンパーで参加しました。

会場では、富山県立大学女性研究者の写真展や富山県立大学地域協働研究会COCOSによる女性へのありがとうメッセージ展、射水市に拠点があり、チームカラーがオレンジ色であるアランマーレ女子ハンドボールチームの紹介コーナー等がありました。当委員会も年間の活動報告や募集した川柳で作った「男と女のなかよしカルタ」、越中だいまん風まつりに参加したときの大きなPR風の展示、川柳入りのティッシュの配布等を通して男女共同参画社会の実現を訴えました。

1階のパーゴラでは同時開催イベントの、手作りの小物や雑貨、アレンジフラワーや飲食のマルシェが大変賑わっていました。そこにはいきいきと働く女性の姿が多くありました。今回参加していた、アランマーレの選手たちからは、ハンドボールにかけた力強く熱い思いも聞けました。

まさにこの女性たちのエンパワーメントを一層推し進めなければと強く思いました。女性自ら持つパワーで自らの可能性を広げていける社会を目指して、当委員会はがんばる女性を応援し続けたいと思います。

(H.C)



# 活動目録

## 9月26日⑨ ..... ● おおしまファミリー元気事業

9月26日(土)、大島コミュニティセンターにおいて「楽屋姫コンサート」を開催しました。

この事業は、おおしまファミリー元気事業の一環として、大島地域振興会主催、射水市男女共同参画推進委員会共催で行いました。

当日はあいにくボーカルのシンガー英樹さんは都合が悪く、愛弟子のボーカルとギタリスト(楽屋姫メンバー)の2人セッションとなりました。懐かしのメロディー、歌謡曲など客層にぴったりの選曲でした。

コロナ禍の中、できる限りの感染予防対策をして、皆さんに楽しんでもらいました。

(S.M)



## 11月21日⑨ ..... ● 脳が喜ぶ、心が笑う「臨床美術」



脳が喜ぶ、心が笑う「臨床美術」を、11月21日(土)に下村コミュニティセンターにて、村上直美さんを講師に招き開催しました。

認知症の予防や改善、右脳の活性化、心の開放や意欲の向上にも効果があると言われています。そして、誰もが楽しめるアートです。

講師の制作手順の説明に従い、黒の画用紙を切り、台紙に貼り、色鉛筆で色付けを行っていきました。最初は緊張気味にハサミを入れていましたが、説明が進んでいくと表情も和らぎ、上手も下手も関係なく、自分らしい色を楽しみながらドンドン重ねていくことができました。

完成した作品に、講師からの制作中の思いや発想できることをきいて、驚いたり納得したり気付いたりして、参加されたみなさんの笑顔がありました。

(S.S)

## 11月29日⑨ ..... ● 寿司の握り方教室

11月29日(日)、新湊コミュニティセンターにて、寿司の握り方教室を行いました。

「皆さん集まってくださ～い。まずは、魚の三枚おろしから始めま～す。」の掛け声に、参加者全員が一つの調理台に集まり、講師のもと、男性参加者がフクラギの“三枚おろし”に挑戦しました。慣れない手つきに、笑みが沸き起こる中、適度な大きさに切られた魚ができると、各々4か所の調理台に分かれ、エビ・卵焼き・キュウリ等のネタも使った寿司の握り方教室が始まりました。

今回は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、自分で作ったお寿司をパックに詰め、自宅に持ち帰ることになりました。アラの味噌汁を作れなかったことがとても残念でした。

(E.A)





## 体験型「チンドン太鼓をたたいてみよう」 ●……………12月17日

12月17日(木)に放生津コミュニティセンターにて、おらっちゃん人生桜歌隊を講師に招いて「チンドン太鼓をたたいてみよう」体験を開催し、53人の地域住民の方に参加していただきました。

参加して下さった方々には、親睦を図りながら本場のチンドンの公演を目や耳や肌で感じて鑑賞していただいた後、実際に五感を使って太鼓をたたいて体験していただきました。大きな手拍子と大笑いで終始和やかな雰囲気の中、参加者の皆さんは元気をもらった様子でした。(S.R)



## ばく・わたしからのプレゼント チョコレート作り ●……………2月6日



2月6日(土)、ふたくちコミュニティセンターにて、日頃の感謝の気持ちをこめて「チョコレート作り」に挑戦しました。親子10組限定で行いました。

席の間隔をあけ、密にならないよう机の配置も心掛けました。参加した親子は着座した場所から移動せず、講師を務めたサークル「カエルの会」が溶かしたチョコレートを各親子のテーブルに持ってきて、並べたカップにチョコを入れ飾り付けをしました。また、感謝の気持ちを伝えるメッセージカードを作成し、チョコレートと一緒に添え可愛くラッピングもしました。1時間という短い時間での活動でしたが、参加した親子からは「とても可愛くできました。楽しかったです。」と感想をいただきました。(M.M)

## あったか家族のひなまつり ●……………2月28日

2月28日(日)、櫛田コミュニティセンターで「あったか家族のひなまつり」と題してお菓子と折り紙のおひなさま作りをしました。

お菓子のおひなさまの体はバームクーヘンにデコペンやカラーシュガーで模様を描き、顔は鈴カステラに目や口を描いて、ピックで留めてできあがり。目を大きくしたらにじんだりしてハプニングもありました。参加された親子に似ているおひなさまでした。

折り紙では解説のメモを見て親子で話し合いながら折っておられ、微笑ましい雰囲気が伝わりました。親子で2組のおひなさまを作り、折り紙は自分で選んで組み合わせ。それぞれ個性あふれる作品ができあがりしました。一足早いひなまつりになりました。(Y.K)



## 啓 発 活 動



6月 男女共同参画週間



12月 女性に対する暴力をなくす運動



# 研 修 会 報 告

## 7月16日 ㊦ DV研修会

7月16日(木)午後7時から救急薬品市民交流プラザにて、一般社団法人ウィメンズカウンセリング富山の<sup>くぬぎさ</sup>梶座久子さんを講師に招き、「DVがおこるしくみを知り、対応を考える」と題して講義をしていただきました。

新型コロナウイルスが流行してからはなかなか事業ができず、この研修会が今年度初めての事業となりました。このコロナ禍の中でDV相談が昨年の1.5倍に膨らんでいる状況下でのDV研修だったので、推進委員の皆さんは興味深く話を聞いておられました。

講義では、DVの知識や相談を受けるときの視点・傾聴技法、DVセルフチェック等についてお話していただきましたが、私になるほどと思った点は3つありました。1つ目は、「デジタル暴力」についてです。今どきのことで、相手が見えない分もっと過激にならないか心配です。2つ目は、「暴力容認の社会」についてで、日本では世界的に注目を浴びているアニメも暴力的な描写があったり、家族団らんの時間帯の国民的な番組も、人を斬る場面が多くあったりと、日本人の精神の奥深いところに暴力が潜んでいるのではないかと思います。3つ目は、相談を受けるときの視点・傾聴技法で、相談を受ける側がジェンダーの視点を持つこと、傾聴技法では積極的に聞く、まるでコーチングの方法と同じだと感じました。

社会生活の中でアンテナを張り、DV被害者の早期発見・被害者への相談機関等の情報提供を図り人権侵害を無くすため、性別役割分担意識のない男女共同参画社会実現のために推進活動を進めていきたいと思います。(M.Y)



## 11月14日 ㊦ 臨床美術体験

11月14日(土)、救急薬品市民交流プラザで「臨床美術体験」の研修会を開催しました。講師に岡野真希さんほか4名を招き、「臨床美術における『意味生成ケア』と『存在論的人間観』によるケアについて」という内容で行いました。

どんなに難しいのだろうと内心ドキドキ。“ピーマン”を題材に、手の感触、五感で感じるままに描きました。作品の出来上がりは三者三様、大小さまざまカラフルな色使いなど、どれひとつとして同じものはなく、みんな素晴らしい作品に仕上がりました。上手か下手かではなく、今ここに集中する芸術的行為を他者とシェアして生きているという喜びを実感するという内容で、この貴重な体験が今後の活動に生かされれば良いと感じました。(Y.Y)



### 編 集 後 記

今年度は新型コロナウイルス感染症により、研修会・啓発活動を例年どおり実施することが難しくなりました。

そして、色々な物事に対する概念をこれまでとは変えなくてはいけない状況になりました。例えば日常生活、学校生活、働き方、食生活等、多くのことが挙げられます。

このような状況の中でも、男性女性という性別にとらわれず自分らしく生きられる男女共同参画社会実現のための地域の環境づくりや意識啓発につながっていくものと考え、今後も啓発活動を継続していきたいと思います。(S.S)